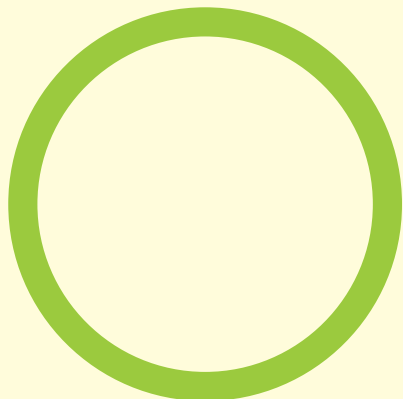
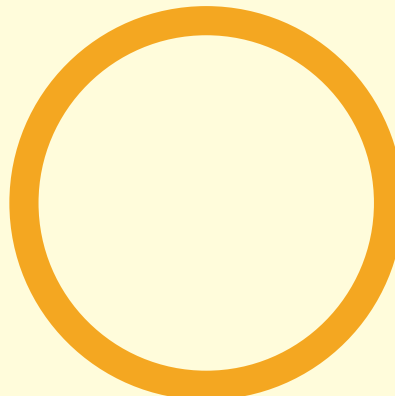
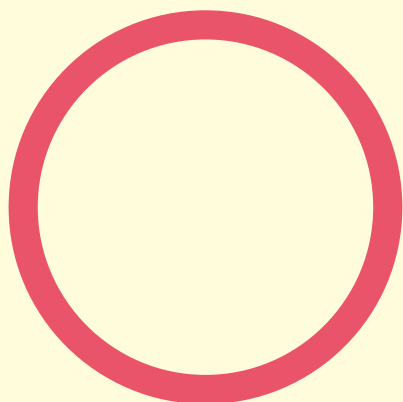


川崎市市勢要覧2025

カワサキノコト



みんなで紡ぐ、川崎の一日。



カワサキノコト

みんなで紡ぐ、川崎の一日。

04 オープニング

06 グッドモーニングカワサキ 街角スナップ

01 | 宮崎台元気体操

02 | 見守り隊 鈴木三男さん

03 | 水辺のある里山を守る会

04 | まちびらき隊

05 | 川崎市ふれあい館 識字学級

06 | 野川はあも

12 “市長と語る川崎のミライ” みんなで紡ぐ、川崎の“支える”

川崎市長 福田 紀彦

川崎市民生委員児童委員協議会 会長 今 富子

一般社団法人 多摩区ソーシャルデザインセンター

代表理事 伊藤 直人

16 教えて！ あなたの食べたカワサキランチ

中国料理 煌蘭 川崎店／ブラスリーほっぺ
コスギカレー／二坪食堂／松楽菜館
King&Jessie / コアデリ by cafe Sante

18 屋下がり、ホッとひと息 いろいろ七色 癒しのパーク巡り

富士見公園／王禅寺ふるさと公園
橘樹歴史公園／夢見ヶ崎動物公園／等々力緑地
東高根森林公園／生田緑地ばら苑

20 探訪！川崎 午後の居場所

01 | みた・まちもりカフェ

02 | ことばすけっと

03 | かわさき芽吹塾

04 | あらぐさこども食堂

24 カワサキ^{ナイト}nightはつどわ^{ナイト}night

川崎フロンターレ／川崎ブレイブサンダース
よみうりランド／SUPERNOVA KAWASAKI
市制記念多摩川花火大会／川崎市アートセンター
とんもり谷戸／工場夜景

市勢要覧2025

28 最幸のまち かわさき 川崎市総合計画

34 データで見る川崎

38 歴史で見る川崎

40 名誉市民・市民文化大使など

41 かわさきスポーツパートナー・川崎市議会など

42 市民オンブズマン制度・川崎市歌など



時計アイコンは、各企画に登場する
人々の活動時間を表しています。

本誌掲載の記事、写真、イラストの無断転載、複製、使用を禁じます

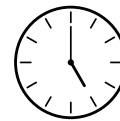
90台以上のバスが次から次へと川崎市内へ出発していく川崎市バス塩浜営業所。点検を終えた一番最初のバスが出て行くのは午前5時頃。市民の移動手段の安全を支えるための日々の営みがここにある。

みんなで紡ぐ、川崎の一日。

移り変わりの早い時代だからこそ、住み慣れた地域で、心穏やかに過ごせる「ふつうの一日」が幸せであり、特別であることに気づく瞬間があります。私たちのまち川崎には、陽が昇る前からみんなが眠りにつく時間まで、地域に寄り添い、地域のために活動し「ふつうの一日」を支え続けている人たちがいます。時代が変わっても、変わらない思いをみんなで紡ぎ、未来の川崎につないでいく——カワサキノコト2025では、そんな人々の思いを、一日の流れとともに紹介します。

新百合ヶ丘駅から歩いて10分ほどの小高い丘の上に畑がある。植えられていたのは3月ごろに出荷されるのらぼう菜。この畑でとれた野菜は直売所のほか、地域のレストランなどで食材となり市民に届けられる。

夜が明ける前から市民の食を支える北部市場には活気が溢れている。その日に入荷された活魚・鮮魚のセリは一番早い午前4時半。5時40分からのマグロのセリには冷凍マグロに混じって近海ものも並ぶ。



グッド
モーニング
カワサキ

街角スナップ

毎朝、近所の人と顔を合わせて笑顔であいさつができる。安心して学校や会社まで元気に行ける。そんな当たり前にも思える風景を支えている人たちが川崎市内にはたくさんいます。朝の街角から、その様子を伝えます。

日曜日と雨天以外の毎日、暑い日も寒い日も朝6時半から宮崎第一公園でラジオ体操を行っている「宮崎台元気体操」の皆さん。

「地域コミュニティづくりの一環として、仲間が各地で早朝公園体操を始めたいんです。我々もそのひとつで、みんな仲良く楽しく健康やかに」をテーマに15年以上続けてきました」

メンバーをまとめる奥山さんご夫婦を中心に仲間が集まり、現在は約30名が在籍。

「最高齢は92歳の男性で、誕生日にはみんなでハッピーバースデーを歌ってお菓子をプレゼントしました。なかには公園体操がきっかけで体調が回復して、山登りができるほど元気になった人もいますよ」

朝の挨拶を交わすだけに終わらず、親睦を深めるイベントをたびたび開催していることも皆さんの活力になっているそうです。

「桜やバラの観賞会や、ポッチャで交流会を行うこともありますね。体操の後に近くのファミレスでモーニングを食べながら近況報告し合う時間も楽しいんですよ」

また、夏休み中の小学生が体操に参加することもあり、公園体操が世代を超えた交流の場にも。

「ここで仲間が来ると、まだお互い元気だねって確認し合う機会が生まれて、それが安心にもつながる。初めてのメンバーにもみんなが声をかけるから、いつの間にか打ち解けて仲良くなるし、ここに来れば孤立や孤独を感じることはないと思いますよ」



世話人の奥山友保さん



宮前区作成の公園体操マップに掲載されている46カ所のうちの一つ「宮崎台元気体操」。毎朝6時半から行われる健康増進が目的のラジオ体操以外にも、地域交流をきっかけとした仲間づくりの応援も行っている

01 / 宮崎台元気体操

活動場所 宮前区宮崎第一公園 活動時間 月曜～土曜日 6:30～6:40

最高齢は92歳！

公園体操で

健康増進と地域交流

23年間、この場所に立ち

子どもと地域の人たちの

毎日を見守り続ける

下平間小学校に通う子どもたちが元気に学校へ行けるよう、毎朝通学路の交差点で見守り続けているのが、鈴木三男さんです。

「神戸にいる孫が小学校に入学した頃、通学の様子を見ていたら、見守りの方が立っていました。それを地元・鹿島田でできないかと思っただけで、ちょうど下平間小学校で見守り隊を募集していたんです」

すぐに応募し、そこから23年もの間、雨の日も、雪の日も同じ場所に立ち続けています。

「雪の日には特に転んだけをして泣く子もたくさんいるんですよ。だから走らないでねって声をかけるんです」

鈴木さんの立っている場所は建物の陰で特に冬場は厳しい寒さが続きます。大変そうにも思いますが、子どもたちと触れ合うことで鈴木さんの生活にも張りが出ると言います。

「あいさつやハイタッチをすること



で元気をもらえるんです。これが若さの秘訣かもしれませんね。長年続けていると、小学生だった子が、高校、大学を卒業して大人になって『彼氏できたよ』って報告しに来たこともあります。『よかったじゃない！』って喜び合うことができます。それもうれしいじゃないですか」

子どもたちを思う気持ちは、交通安全の見守りにとどまりません。交差点を通る子どもの顔を覚えていて、「今日は、あの子が登校してないな」とすぐに気が付くのです。休みがちな子どもを気にかけて、その家族から様子を聞くこともありますが、それは「長期欠席している子が一番心配ですよ。お母さんを見かけたら『困ったことがあったら相談してよ』って声をかけるようにしています」

子どもたちだけではなく、通勤中の会社員や保育園へ行く親子、ごみ出しをするご近所さん、みんなが鈴木さんにあいさつをします。そんな鈴木さんがいない日があると、街ではちょっとした騒ぎに。

「1日でも休むと、翌日にはみんながどうした、どうしたって聞くんです。俺だって生身の人間だから休むこともあるよって思うけれど(笑)」

地域にとって、鈴木さんはかけがえのない存在になっているのです。

02 / 見守り隊 鈴木三男さん

活動場所 幸区下平間小学校付近の十字路 活動時間 平日 7:40～8:20



58歳で退職後、民生委員に。同じタイミングで孫が小学校へ入学したことが「見守り隊」に入るきっかけとなる。以来23年間、小学校へ通う児童を見守り続け、毎朝多くの子どもや通勤中の人たちとあいさつを交わす





地球をキレイにしたい！
身近な東田公園の清掃から
みんなでSDGsを発信

東田公園を拠点に、周辺のごみ拾いや植栽を行い街の美化活動に努める。
また、子どもたちとともにより良い街づくりの企画を計画、実行する

04 / まちびらき隊

活動場所 川崎市東田公園
活動時間 毎週日曜日 10:15～

川崎駅からほど近く、繁華街の一角にある東田公園。公園内のコミニティセンターへ合気道教室に通う生徒が中心となり、公園の美化活動を目的に結成したのが「まちびらき隊」です。

「公園に来ると、いつもたくさんのごみが落ちていたんです。ごみ拾いを始めたころは、朝だけでごみ袋2袋分がいっぱいになるほどでした。清掃だけでなく、小学生以下の小さい子どもたちが描いた『川崎を綺麗にするポスター』を貼るなどの取り組みを続け、かなりごみが減ってきました」と語るのはまちびらき隊のメンバーの皆さん。

活動についてSNSなどで発信するうちに、運営メンバーも増え、今は中学1年生から大学3年生まで35人の若者が集まっています。また近隣の小学校や幼稚園に活動のポスターやチラシを配布。街をより良くするアイデアを小学生以下の子どもの活動の輪も広がりました。

「例えば、本物のお店でお店屋さんごっこをしたい、という小さい子たちの意見をもとに、商店街の方に協力をいただいて、実際の店舗でパン作りなどの体験を行いました。自分たちでできるんだろうか、というようなことも工夫をして実現できた時は大きな喜びが得られるんです」



まちびらき隊のメンバーの皆さん

最近では特にSDGsに関わる企画に力を入れているそう。

「僕たち自身も勉強しているテーマですが、小さい子にもSDGsについて知ってもらいたいです。早いうちから知っておけば、もっと良い改善案や解決策が生まれるんじゃないかと思うんです。だから常に、小さい子に興味を持ってもらえるような企画を考えています」

そんな思いから令和6年には市内のSDGsに取り組み企業・団体の協力を得て、小学生を対象にクイズやゲームで楽しくSDGsを学べるツアーを実施。今後も続ける予定です。

「僕たちの目標は地球をキレイにすること。そのために、まず、この東田公園をSDGsであふれる公園にして、それを川崎市から日本、そして世界に広げていきたいと思っています」



会長の織野章さん（左から二人目）とメンバーの皆さん

小田急多摩線はるひ野駅から徒歩15分の場所にある黒川よこみね緑地は、湧き水が出る水辺と多様な地形に恵まれ、多くの生き物が生息する里山です。保全活動を行っている「水辺のある里山を守る会」は、子どもを含む40家族が会員で、活動は16年目になるそうです。

「混み合った林の木や枝を切つて斜面に陽射しを入れ、花が咲いて実のなる木や、コナラなどの落葉樹を植樹しています。1日に約300トンの湧き水が流れる水路に堰を造つて水がよどまないようにするのも大事な活動ですね。キレイな水のおかげで夏にはホテルも見られるんですよ。住宅街のすぐ近くにホテルが生息するってなかなかないことだから、皆さん喜んでくださいますよ」と会長

の織野章さん。

里山の保全だけでなく、植物や生き物の観察、緑地の植物を素材にしたリース作りのワークショップなど、地域の小学生が対象の自然教室にも力を入れているのだとか。

「自然に関連した仕事をしていただけではないのですが、それでもこの活動に関わりたかったのは、少年時代に経験した自然体験をもう一度味わいたかったからかもしれない。駅の近くにこれほどの自然があるって大変貴重なこと。この辺りで育ったお子さんは幸せだと思います」

そんな黒川よこみね緑地の多くの生き物と自然をまとめた写真集が、まもなく完成するそうです。

「昆虫や魚、鳥、季節ごとに変わる山野草などを毎週のように写真に収めているメンバーがいて、それ自分たちだけで楽しむのもったいないねってことで写真集を作ろう、と。ここには56種類の絶滅危惧種や希少種が生息しているので、写真集ではそういった珍しい植物や生き物も見られますよ」

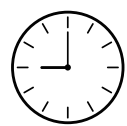
16年かけてつないできた里山の尊さを次世代に残すために、「水辺のある里山を守る会」の皆さんは、これからもさまざまな活動を行っています。

03 / 水辺のある里山を守る会

活動場所 麻生区黒川よこみね緑地
活動時間 毎週水曜日 9:00～11:30、第2・4土曜日 9:30～12:00



月に6回を基本に、約40の家族会員が活動中。この日は平日のため参加者は少人数だったが、会長の織野さんを中心にベテランの会員が植樹を行っていた。また、貴重な生態系を守るため、池には外来種であるアメリカザリガニを捕獲する仕掛けも。これまでに10万匹を捕獲したそう





会長の伊藤菊代さん

「野川はあも」が活動する「南野川ふれあいの森」は、コナラやクヌギを中心とした落葉樹が生い茂る森です。現在は四季折々の野草が花を咲かせ、さまざまな虫や野鳥を観察することができですが、活動を開始した平成16年頃の森は、荒れていたのだといいます。

「危ないから子どもは一人で行っちゃだめ、というくらい、竹に覆われた暗い雰囲気のある森でした。せつかくの場所なんだからどうにかしたいと、近隣の方と話し合っ自分たちでやることをやろうと。この辺りでは貴重になってしまった雑木林を残したいという気持ちもありました」

そこで、樹木医でもあった伊藤菊代さんが会長となり、森を育む「野川はあも」が立ち上がりました。

「当時は私も含めて子育て世代の方が多く、自然と子どもも参加する活動になっていきました。子どもたちには、意味が分からなくてもいいから、何のためにするのかを説明して一緒に作業するんです。一緒に竹を伐採していくと、美しい森が姿を現しました」

立ち上げから20年余り、毎月森を訪れて手入れを続けています。

「コロナ禍の時に人が来なくなると、しばらく手入れもできず、さらにナラ枯れが多く発生し、立ち入り禁止になってしまったんです。それでも許可を取って、できる限りのことをしました。改めて人が手入れすることで、森が維持できると実感しました。少しずつでも続けることが大切なんだって」

最近では、森を訪れる子どもが少なくなっているようですが、伊藤さんは子どもたちのためにも活動を続けています。

「鳥がトカゲを捕っていたり、巣箱の中でひながかえった痕跡があったり、そういう当たり前の命の循環を見られるんです。本で勉強するんじゃなくて、ここにきて遊んでいるだけで気づくことがたくさんあるはず。だから、もっと子どもの来られる場所にしていきたいという思いも持っています」

06 / 野川はあも

活動場所 宮前区南野川ふれあいの森
活動時間 毎月第1日曜日・第4土曜日 10:00～15:00

自然と触れ合い
守り育むことで
命の循環を知る



冬は落ち葉かき、春は草刈り…と、森の手入れをする「やま仕事」を行っている。メンバーは近隣の2歳～80歳と幅広い。この日は、鳥が快適に過ごせるように、巣箱の架け替えを行った



国籍や立場に関係なく
会話を楽しみながら
一緒に言語を学ぶ

2～4人に対し1人の共同学習者と呼ばれるボランティアスタッフが対応。学校でもらったプリントを読んでほしいという相談に対応するなど、日常生活で日本語に困らないよう、寄り添いながら学ぶ

05 / 川崎市ふれあい館 識字学級

活動場所 川崎市川崎市ふれあい館
活動時間 毎週火曜日・金曜日 10:00～11:30

川崎市ふれあい館では昭和63年の開館以来、近隣に住む外国人の方が読み書きを学ぶ識字学級を続けてきました。もともとは在日韓国人の方に向けて始まりましたが現在はアメリカ、中国、ブラジル、ネパールなど15カ国以上の人が通っています。

そのなかで、平成23年からボランティアとして関わっているのが大越貴子さんです。

「川崎市の識字学級のボランティアは『共同学習者』と呼んで、先生ではなくあくまで一緒に学習する立場です。私自身は大学で日本語教員をしていたんですけど、ここに来るとお互いに『同じ日本に住んでいる人』という感覚になります」

教材に沿ったカリキュラムなどではなく、何気ない会話から自然と日本語の読み書きに関する質問が生まれ、学習につながっていきます。

「共同学習者になったばかりの方のなかには、順序だてて『授業』をしたほうがいいのか、とおっしゃる方もいます。でも続けていくうちに、この自由に会話をするスタイルになじんでいくんです」

そのほうが、お互いに楽しく会話が弾むのです。

「日本語ではこう表現するんだよ、と伝えると中国語ではこんな風と言

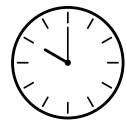


識字学級ボランティアメンバーとふれあい館職員

うんだよ、と教えてもらうことは多いですね。そうやって国籍も年代も全く違う人と対等に交流ができるのが何より楽しい。今、13年目になります。それが長く続けられている理由かなと思います」

仕事や帰国などで一時的に通えなくなっても、また戻って来るという外国人の方も多いそうです。

「日本語を効率よく学ぶなら、他の日本語教室に行くはず。ここに通い続けてくれるのは『昨日大変だったんだ』と気軽に会話できるのがいいのではないだろうか。お互いの大切な居場所になっているんじゃないかな。仕事として日本語を教える場合は、何か成果が出ないといけないのですが、この識字学級の成果は、皆さんが笑顔で『楽しかった、また来週』って言うてくれることなんです」





令和7年1月、川崎市本庁舎 旧市長室で対談

地域と人、人と人をつなぐ 重要な役割を担う二人

福田／まず、お二人の活動を皆さんに知っていただきたいですね。

今／高齢者など地域の方のお困りごとや相談を受けて、支援機関や区役所などにつながるのが民生委員・児童委員の役割です。気軽に相談していただけるように、信頼関係を築くための活動も行っています。現在、麻生区の民生委

員はおよそ150名で、対応する世帯数は500弱ぐらいですね。

福田／川崎は民生委員一人が担当されている世帯数がすごく多いですね。地域と機関をつなぐ大切な役割だと思います。では、ソーシャルデザインセンター（以下SDC）のことを教えていただけますか。伊藤／「中間支援」と「まちのひろば」という2つのキーワードをもとに、つながりを広げる活動をしています。「中間支援」というのは、相談内容に合わせて、

地域の団体と人、または人と場所をつなぎ、一緒に何かやりましようとお声がけすることにつながるりの輪を広げていく活動です。「まちのひろば」では、例えば子ども食堂など多くの方が気軽に立ち寄ることのできる居場所を、地域の方々と一緒に広げる活動をしています。

福田／お二人とも、つながりをつくる人なんですね。地域活動に関わりを持ち始めたきっかけは何ですか？

今／私は子どもたちが幼稚園の頃から中

“市長と語る川崎のミライ”

みんなで紡ぐ、川崎の“支える”

民生委員・児童委員として長年にわたって地域にお住まいの方の相談対応や見守りを続けてきた今富子さん。そして、大学時代から地域活動を始め、現在、多摩区ソーシャルデザインセンターの代表理事を務める社会人2年目の伊藤直人さん。それぞれの立場で川崎を支える二人と、福田紀彦川崎市長が、地域活動へ関わる思いについて語り合いました。

川崎市長

福田 紀彦

Norihiko Fukuda

昭和47年生まれ。川崎市立長沢小・中学校卒業後、渡米。米国アトランタ・マッキントッシュ高校卒業。米国ファーマン大学卒業（政治学専攻）。神奈川県議会議員、早稲田大学マニフェスト研究所・客員研究員、県知事秘書などを経て、平成25年川崎市に初当選。平成29年に再選し、3期目。

川崎市民生委員児童委員協議会
会長

今 富子

Tomiko Kon

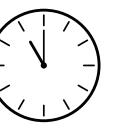
昭和23年生まれ。麻生区在住歴は40年以上。金程小学校の初代 PTA 副会長を務めるなど、長年にわたって地域活動に取り組む。令和4年に地域の人の相談・支援を行うボランティア川崎市民生委員児童委員協議会の会長に就任。ほか小学校での農業体験の場づくりなども行っている。

一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター
代表理事

伊藤 直人

Naoto Ito

平成12年生まれ。大学入学のタイミングで子ども食堂の運営に携わり多摩区ソーシャルデザインセンターに立ち上げ検討会より参加。令和3年、大学3年生で同センターの学生代表就任。現在は代表理事。同センターが主催する多摩川河川敷の大規模イベント「登戸・たまがわマルシェ」は、毎年の恒例となっている。





みんなが笑顔になる

地域活動が楽しくて

自分の居場所になっています

学校までずっとPTAの役員をしていました。そのあと何かと地域と関わりがあつて、民生委員をしながら、少年補導員も17年続けていたんです。

伊藤／私の場合は、姉が子ども食堂に関わっていて、私が大学に入るタイミングで「こういう活動があるから来てみる?」と誘われたんです。行ってみたら、運営の仲間や利用する子どもたちと話すのが楽しくてすぐにハマってしまいました。子ども食堂に携わる中で、SDC立ち上げの検討会に団体として声をかけていただき、今につながっています。

ていきたいです。

伊藤／私も社会人になって、平日は仕事があるので、できる範囲内で続けています。学生の皆さんにはサークルや勉強とのバランスを取りながらやりましよう、と共有しています。

福田／伊藤さん自身は、これからどういう生き方をしていきたいですか?

伊藤／感謝とあいさつが重要だなんて最近やっと気づき始めました。市長の話にあったように「ありがとう」には「ありがとう」が返ってきますが、自分がうまくいってない時は鏡のように周りとの関係もうまくいかないことがあるなって。感謝とあいさつを大切に、会社でも地域でも人と人をつないで、お互いに助け合いながら、良い関係を築いていけるように今後の人生を歩んでいきたいです。

福田／素晴らしいですね。感謝とあいさつ—すごく良いキーワードですね。

今／私も地域の方との信頼関係を築くためにあいさつ運動をしていましたから、あいさつの重要性はとても感じています。そして、周囲への感謝は忘れてはいけないことです。私は、年齢的にこれからよりも、これまでを振り返ってどういう人生を送ったのかなとよく考えます。できる限りのことはやったつもりで、民

「ありがとう」の好循環を生む 地域活動の素晴らしさ

福田／活動を続けられている理由はどこにありますか?

伊藤／私にとっての居場所になっていったところが一番大きいですね。友達や先輩がいて、活動で出会った人たちとの関わりも楽しいんです。また自分が何か頑張ったことが誰かのためになって、みんなが笑顔になるのが素晴らしいなって。

今／同じですね。民生委員は損得勘定なしでできる仕事。何より人が好きだから、私が何かしたことで地域の方たちから「ありがとう」と言葉をかけられるのがうれしいんです。皆さんの役に立てていると実感できます。

福田／「ありがとう」と感謝を言える人と、言われる人ってすごく好循環で回っている気がしますね。活動の中で特にやって良かったと感じる出来事はありますか?

伊藤／2021年から毎年GWに開催している「登戸・たまがわマルシェ」でしょうか。コロナ禍で飲食店や部活動、地域団体の発表の場など交流の場が0に等しくなっていた中で、地域の方々の笑顔が見られる場をつくれたことはとても良い思い出です。遠方に出られない



自分の幸せのために

人や地域との関わりが

とても大切なんです

生委員のなかに、今さんが辞めるなら辞めようかなという方がいらつしやると、私ってそんなに重要な位置にいたのかな、少しは役に立てたのかなって…。
福田／そうやって必要とされるのはとてもハッピーなことですね。会長を務めてくださって今さんには本当に感謝しています。では今後、川崎がもつこうなったら良いなということがありますか?

伊藤／川崎出身の友達が多いのですが、彼らから地元愛を強く感じたことが一切ないんです。けど、本当はそんなことないはずなんです。みんな地元のことを大



私のスタイルは

気取らず、おごらず、

自然体でいること

い時期だったからこそ、地域で人が集まる貴重な機会として受け入れていた気がします。

福田／コロナ禍で、特に地域で活躍できる場を提供して、みんなの居場所をつくってくれたんだろうなと思います。今さんも接触が難しい時に、素晴らしい取り組みをされていましたよね。

今／対面してはいけないと言われ、このままでは高齢者が見放されてしまうという危機感がありました。なんとかできないかと考え、カードに「あなたのことを見守っています」と手書きのメッセージ

好きははずだから、それを表現し合って、川崎って良いよねって言い合える、そんな川崎になってほしいと思います。私自身、生まれ育ってきた地元・川崎のことがすごく好きなんです。

今／私も川崎が大好きです。特に自分も携わる中で、川崎市の福祉は素晴らしいと感じます。川崎市社会福祉協議会の取り組みで、高校生と大学生が能登半島を訪問し、被災地支援のボランティアを行いました。先日、活動の報告会がありましたが、皆さんの熱い思いを聞いて感動しました。こういった素晴らしい思いを持った若い方たちに、ぜひ活動をつないでいてほしいですね。

福田／昨年、市制100周年を迎え、市民や地域の企業、団体などの皆さんがいろいろな形で記念事業を立ち上げ、「知って、関わって、好きになる」というテーマのもと、多くの人たちを巻き込みながら100周年を盛り上げてくださいました。地域に関わってもらうきっかけがあれば、自分のまちがもっと好きになるし、居場所ができます。自分自身がすごくハッピーになります。自分の幸せのために、人や地域と関わっていくことは、とても大事なんだとお二人の話を聞いて改めて感じました。

を添えて、一軒一軒ポストに入れたんです。民生委員の皆さんにも絶対にパソコンじゃダメだよって、同じようにしていただきました。すると受け取った人たちからすぐに「ありがとう」って電話がかかってきたんです。あのうれしさっていうのは、もう言葉では言い表せないですね。

ハッピーでいるための キーワードは感謝とあいさつ

福田／民生委員の皆さんは、強い思いを持っているからその喜びを分かち合える仲間がいるのが良いですね。地域との関わりがない方の中には、こういった活動が大変そうだなというイメージを持っていたらつしやる方もいるかもしれませんが、いかがでしょうか。

今／大変ではないです。私のスタイルは、気取らず、おごらず、自然体でやっていること。今後、地域活動を行う方には、自分のできる範囲で良いんだよって伝え



大好きな地域の役に立ちたいという思いで民生委員・児童委員のほかさまざまな地域活動を続ける今さん



多摩SDCの子ども食堂での活動は、運営の仲間や子どもたちとの会話も楽しく伊藤さん自身の居場所となっている

本社の一階にある二坪食堂は、数日ごとに変わる一期一会のメニューが魅力です！就活生の頃、香りに誘われていたルーローハンは、私にとって入社後の夢の一杯でした！

株式会社エヌアセット 市川 樹さん



二坪食堂
高津区溝口1-14-8
石原ビル1階
季節の食材や、薬膳・発酵・スパイスを使ったどんぶりご飯と、スペシャルティコーヒーを提供するコーヒースタンド



高津区
ルーローハン

たっぷりの鶏肉と旨辛のタレが大好きです！ご飯がめっちゃ進みます。豊富なメニューの中でも好き過ぎて何度も注文しています

会社員・鷺沼ファン運営
石川 甚敬さん

宮前区
よだれ鶏
定食



松楽菜館
宮前区小台 1-19-5
TEL:044-853-0971

創業昭和40年、鷺沼駅前で長年愛され続ける本格中華料理店。ランチのよだれ鶏定食は数量限定なので、早めの来店がおすすめ

仕事の合間に食べるランチは、午前中に頑張った自分へのちょっとしたごほうびや、午後の活力になるもの。今回は川崎で働く皆さんに、おすすめのランチを突撃インタビュー！それぞれ、イラストでメニューを表現していただきました。

教えて！
あなたの食べた
カワサキランチ

種類豊富なカレーの中でも、リピート欲がそえられる、味もボリュームも大満足の定番ランチです！

かわさき市民活動センター
沢田 彩さん



コスギカレー
中原区新丸子東 2-897-11-102
TEL:044-571-7186

三輪車での移動販売からスタートしたカレー店。お客との対話からアイデアを得て、新作メニューを生み続けている



中原区
濃すぎ
チキンカレー
DX

しょうが焼きというと大きめの肉が数枚を想像しがち。この店の岩中豚は厚すぎず、プルプルの豚肉をたっぷり食べたい人にオススメ

プロガー
みやもとまなぶさん

多摩区
しょうが焼き
(ごはん+味噌汁付)



King&Jessie
(キングアンドジェシー)
多摩区登戸2092
三笠蝶商ビル102
TEL:044-328-9779

認定農場で飼育されたSPF岩中豚を使ったしょうが焼きが味わえる。スパイスやハーブを独自配合したカレーも人気

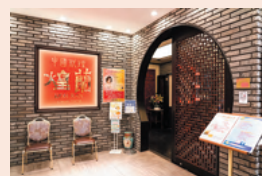


熱々トロトロのスープが麺に絡み、ふかひれの食感を味わいながら、しっかりとした味付けの中にも優しさを感じる逸品です。スープも最後まで残さずいただきます！

株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース
隠岐 洋一 さん



川崎区
カラーゲンたっぷり
フカヒレスープそば



中国料理 煌蘭 川崎店
川崎区駅前本町8
川崎ダイスビル
TEL:044-245-0018

京急川崎駅前で28年以上愛され続ける本格中国料理店。川崎ブレイブサンダースの選手も「中華は煌蘭！」と推している

まめ、ごま(種子、ナッツ)、肉、もずく(海藻)、野菜、魚、椎茸(きのこ)、芋をバランスよく詰めたお弁当で、孫だけじゃなく、みんなにやさしい！

管理栄養士 田澤 梓さん

麻生区
「まごにも
やさしい」
サンテ弁当



コアデリ by cafe Sante
麻生区百合丘3-24-25
TEL:044-543-8418

地元野菜や乾物を使った、からだ思いの安全・安心なお弁当がそろう。SDGsに取り組み、フードロス削減のため予約が優先



幸区
よくばり
ベーコン
ナポリタン

厚切りベーコンがのって、見た目のインパクトもボリュームも満点！生クリームが使われているので、まろやかでやさしい味わいです

北野書店
北野 晋太郎さん



ブラッスリーほっぺ
幸区鹿島田 1-18-3
土谷ビル 2F
TEL:044-533-5090

シェフの音楽好きが高じて、店内では随時ライブを開催。よくばりベーコンナポリタンは第3回かわさき推しメシグランプリを受賞



標高約35mの加瀬山の山頂にある、自然と調和した動物園。無料で入場でき、コンパクトな展示スペースながら、レッサーパンダやペンギンなどたくさんの動物に出会えます。令和6年10月にできたパークセンターには、多目的室やベビールーム、休憩所もあり便利です。



夢見ヶ崎動物公園
幸区南加瀬1-2-1 TEL：044-588-4030

かわいい動物と
気軽に会える

幸区

シラカシ林、クヌギ・コナラ林などの樹林地と、湿性植物園がある自然豊かな公園です。天然記念物に指定されたシラカシ林（推定樹齢 150～200 年）が自然林に近い形で残っています。芝生広場の下には竪穴住居跡を主とする集落跡が眠っているのも特徴です。



東高根森林公園
宮前区神木本町2-10-1 TEL：044-865-0801

宮前区

市内唯一の
県立都市公園

スポーツ施設と 緑が調和した公園

中原区



敷地内には、サッカー場や野球などの運動施設があり、市民のスポーツの拠点にもなっています。市街地のそばにありながら、釣池や日本庭園の「四季園」、ウォーキングにピッタリな「ふるさとの森」などで、気軽に森林浴も満喫できます。

等々力緑地 中原区等々力1-1 TEL：044-711-2522

多摩区

市民が咲かせた満開のバラ



春と秋のバラの開花時期に合わせて一般公開しています。世界バラ会議が選出する「殿堂入りのバラ」であるパパ・メイアン=写真=など、オールドローズから最新の品種まで、さまざまなバラを見ることができます。春には約800種3300株、秋には625種2900株が見事に咲き誇るこのばら苑は、多くの市民ボランティアの手によって維持管理されています。

生田緑地 ばら苑
多摩区長尾2-8-10(旧向ヶ丘遊園地内)
TEL：開苑期間中／044-978-5270 (ばら苑管理事務所)
開苑期間外／044-200-2394
(川崎市建設緑政局緑政部 みどりの管理課)

昼下がり、ホッとひと息 いろいろ七色 癒しのパーク巡り

ランチのあとは、公園でリフレッシュして午後の時間をスタート。緑や花を眺める、動物に癒される、歴史に触れる…。いろいろな個性に出会えるパーク巡りも川崎の楽しみのひとつです。



川崎区

やりたいことが
きつと見つかる
大規模都市型公園！

令和6年10月にリニューアルオープンしたばかりの都市公園です。アメリカンフットボール、フットサル用のスタジアムや、テニスコート、相撲場など、さまざまなスポーツを楽しめる設備がそろっています。その他、年齢、性別、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる「インクルーシブな遊びの広場」や約8,000㎡の広さを誇る「芝生広場」、畑や田んぼ、ビオトープ池からなる「農と自然を体感する広場」などの9つの広場やカフェなどもあり、老若男女問わず使える憩いのスポットです。

富士見公園 川崎区富士見1・2丁目ほか TEL：北側エリアについて／044-271-1321
南側エリアについて／044-276-9133



市内唯一の国史跡で
古代を体感

高津区



史跡橋樹官衙遺跡群は、飛鳥時代から平安時代まで営まれた役所の跡で、市内唯一の国史跡です。遺跡群の中に令和6年、全国で初めて飛鳥時代の倉庫を復元した、橋樹歴史公園がオープンしました。発掘調査の成果や文献資料などを基に古代の技法を使って復元した倉庫では、古代橋樹の雰囲気を感じることができます。

橋樹歴史公園 高津区千年423-1ほか
TEL：044-200-3306
(川崎市教育委員会事務局生涯学習部文化財課)

麻生区

春夏秋冬の
移り変わりを楽しむ



王禅寺ふるさと公園 麻生区玉禅寺528-1
TEL：044-954-0505 (川崎市麻生区役所道路公園センター)

